Health & Safety

oculus.com/warnings

* この安全上のご注意は、正確性、完全性を期すために、定期的に更新されます。 ウェブサイト oculus.com/warnings で最新版をご確認ください。

警告 **安全上のご注意: 身体に対する障害や不快感、および物的損害のリスクを軽減するために、Gear VR をお使いになる前に必ずこの安全上のご注意をよくお読みください。**

警告 **Gear VR をお使いになる前に:**

- 本注意事項のみならず、Gear VR 付属の取扱説明書をよくお読みになり、取扱説明書記載の注意事項、使用方法に従いご使用ください。
- バーチャルリアリティー体験を始めていただく前に、ユーザごとに Gear VR を調整してください。設定ソフトウェア (あれば) を使った補正を行ってください。 ユーザごとの調整を行わないと、不快感を感じるリスクが高くなります。
- 次の方は、事前に医師の診断を受けてください。妊娠中の方、高齢の方、両眼視機能障害のある方、心臓の弱い方、重い病気にかかっている方等。

警告 **発作:** 光の点滅やパターンで、深刻なめまい、発作、てんかん性痙攣、失神を起こす場合があります。これらの発作症状は、テレビの鑑賞中、コンピューター ゲームの使用中、バーチャルリアリティーの体験中に起こる可能性があります。以前に発作、失神を起こしたことがなくても、てんかんの既往歴がなくても、発症することがあります。 このような発作は、お子様や 20 歳未満の方に表れやすくなっています。 過去に次の症状を経験されている方は、事前に医師の診断を受けてください。発作、気絶、てんかんなどに準じた症状。

警告 **お子様の使用:** Gear VR を 13 歳未満のお子様に使用させないでください。13 歳以上の未成年であっても、使用の際には成人保護者の監督のもと本注意事項の症状が発生しないよう休息を取り

、時間を決めて使用してください。長時間の使用は平衡感覚の喪失や、情報処理能力に支障をもたらす場合があります。お子様の使用時とその後の体調管理について十分に気を付けてください。

警告 **一般的な使用説明とご注意:** 身体に対する障害や不快感のリスクを軽減するために、常に説明事項の指示に従い、注意事項を守って Gear VR をお使いください。

- Gear VR の安全な使用のために次のことに注意してください。人や物等の近くでは使用しないでください。階段や窓、バルコニーや家具など、Gear VR 装着中又は装着直後に事故を引き起こす恐れのある場所では使用しないでください。尖った物体を持った状態で Gear VR を使用しないでください。歩行中やサイクリングや車両運転中など、集中力を必要とする行為中の使用はしないでください。

- Gear VR を水平に、不快感のないようにしっかりと頭に装着してください。また、画像がクリアに 1 つだけ見えることを確認してください。

- ゆっくりと Gear VR の使用に体を慣らしてください。最初は 1 回に数分間の使用に留め、バーチャルリアリティーに慣れてきたら、徐々に使用時間を長くしてください。 最初にバーチャルリアリティーの世界に入ったときは、周囲を見回してください。現実世界の動きとバーチャルリアリティー体験との微妙な違いを調整しやすくなります。

- 快適なバーチャル体験には完全な平衡感覚が必要です。次の場合には症状が悪化する恐れがあるため Gear VR を使用しないでください。疲労が溜まっている時、飲酒中（二日酔い時など血中アルコールが高い時も含む）、服薬中、消化不良時、情緒不安定時、頭痛、風邪、頭痛、片頭痛、耳痛のある時。

- 車やバス、列車等の移動物に乗車中の Gear VR は症状の悪化を招く可能性があるので使用しないで下さい。

- Gear VR 使用時は３０分ごとに１０分から１５分の休息をとってください。体調変化には個人差がありますので、必要に応じて休息は長くとってください。この他にも体調を維持するため、使用される方に応じた休息方法をおとりください。

- Gear VR 使用中は、視界の全てをバーチャル映像が占め、実際にいる場所とは異なる空間にいるかのような感覚を体感します。現実空間の行為に集中する場合や注意が必要な時には必ず Gear VR を取り外してから、その行為を行ってください。

- Gear VR が熱いと感じられる場合は、使用を注意してください。　過熱したデバイスを長時間装着していると、やけどの原因となります。

- 必ず Gear VR に Galaxy S6 端末を装着して、Gear VR をご使用下さい。

- 大音量でのご使用は、聴覚に回復不能な損傷を与えることがあります。背景に雑音があったり、常に大音量にさらされていると、実際よりも音が小さく聴こえることがあります。Gear VR は大音量で使用せず、周囲の環境に注意を払える状態を保ち、また、聴覚障害のリスクを軽減してください。

不快感

- 次の症状が現れた場合には直ちに Gear VR の使用をやめてください。発作、気絶、眼精疲労、眼や筋肉のけいれん、不随意運動、視野に違和感を感じた時、めまい、見当識障害、平衡感覚の喪失、過度の発汗、過度な流涎、吐き気、立ちくらみ、頭や眼に痛みを感じた時、眠気、疲労を感じた時、乗り物酔いに類した症状を感じた時等。

- 航海後の船から降りてしばらく経ってから船酔いすることがあるように、バーチャル体験をした後は時間が経ってから急に気分が悪くなる可能性があります。これらは上記に記載した症状を引き起こす可能性があり、使用者の作業効率を大幅に引き下げることがあります。この状態での

作業は重大な怪我や事故を招くため、使用後は完全に回復するまで、車両運転、機械の操作、眼や体を使う運動、正常な平衡感覚を必要とする行為は決して行わないでください。

- Gear VR を使用したことで発生したすべての症状が完全に治まってから数時間は、Gear VR を使用しないでください。 使用を再開する前に、Gear VR を正しく設定していることを確かめてください。

- Gear VR でどのようなコンテンツを使用するか常に気を付けてください。内容によっては上記の症状にかかりやすいものが含まれている可能性があります。

- 本注意事項に記載の症状が回復しない場合、深刻な場合はすぐに医師の診断を受けてください。

反復性緊張外傷: Gear VR 及びコントローラーなどの長時間の使用は筋肉や皮膚を痛める場合があります。使用中に身体のどこかに疲れ、痛み、うずき、しびれなどの違和感がある場合は直ちに使用を中断し、再度の使用まで数時間の休息をとってください。もし上記の症状が継続する、その他の違和感がある場合は Gear VR を再度使用することなくすぐに医師の診断を受けてください。

高周波による干渉: Gear VR は、ペースメーカーなど、周囲の電子機器に影響を与える電磁波を放出する可能性があります。ペースメーカーや他医療機器を用いている方は、メーカー問い合わせや医師の診断なしに Gear VR を使用しないでください。

感電: 感電のリスクを軽減するために、以下に注意してください。

- コンポーネントの改造や分解をしないでください。
- ケーブルが破損してたり、ワイヤーが露出している場合、Gear VR を使用しないでください。

電源アダプターがある場合は以下に注意してください。

- 電源アダプターは水にぬらしたり、結露が生じないようにしてください。
- クリーニングをするときは、電源を抜いてから行ってください。クリーニングには、乾燥した布以外は使わないでください。
- 電源アダプターを火気やその他熱源に近づけないでください。
- Gear VR 専用の電源アダプターをお使いください。

予告 **日光による損傷:** 直射日光が当たる場所に Gear VR を放置しないでください。 直射日光が、Gear VR や周辺機器の損傷の原因となることがあります。